

Weekly Bulletin 2014-2015



RI会長
デイリー C.K. ホアン
(黄其光)



静岡東ロータリークラブ

会長/伊藤洋一郎 幹事/相原雄治

事務局/静岡市葵区追手町2-12 静岡安藤ハザマビル5F TEL054-254-5611

例会場/ホテルアソシア静岡 例会日/毎週 木曜日 12:30~13:30

<http://www.shizuoka-east-rc.jp>



会長
伊藤洋一郎

第 2687 回例会

平成 26 年 10 月 9 日 天候 晴

《司 会》 相原雄治 君

《合 唱》 「静岡東ロータリー」

《BGM》 「LISA ONO Cheek To Cheek」

《ゲスト》 なし

《ビジター》 なし

《本日のお祝い》

お誕生日

なし

結婚記念日

10月11日 大村幸代 君

10月14日 柴田啓之助 君

10月14日 村松重治 君

《創立記念乾杯》

乾杯挨拶 勝山國太郎 君

静岡東クラブは昭和 34 年 10 月 14 日に創立しました。今は 55 周年めです。静岡東クラブが益々栄えていくように乾杯の杯をあげさせていただきます。皆さん、御唱和をお願いします。静岡東クラブが益々栄えますこと、皆様のご健勝をお祝いし東クラブを活性化させていただきますしたいと思います。乾杯！

《会長挨拶要旨》



1. 甲斐バンドのリーダーの甲斐よしひろが「九州少年」という本の中で次のように書いています。『博多名物は「博多うどん」である。僕は「博多うどん」が大好きだ。東京に出てきたとき、目眩がしたのは、真っ黒な醤油だしの中に沈んでいるうどんが出てきたときだ。「頼んだのはうどんだよ。」という「それだよ。」と答えられた。

丸天をパクつきながら麺をすすり、その勢いでいなり寿司を口に運ぶ幸福など福岡以外のどこにもない、それに加えて「ゴボウ天」を汁に沈めて箸で

ほぐしながら、うどんを絡めながらかき込む絶頂感も他では味わえない。』私にとって、うどんといえは「博多うどん」です。全国各地のご当地うどんといえは、思いつくまま挙げても「博多」「おしぼり」「伊勢」「味噌煮込み」「氷見」「ほうとう」「耳」「稲庭」「水沢」そして「讃岐」などがあります。それぞれの土地、それぞれの風土によって育てられたうどんがあるのですね。

2. 甲斐よしひろの本の中にあつたようにうどんのかけ汁については、薄味と関東の濃味とに区別されるようです。つまり関西で薄味なのは、うどんのかけ汁をお吸物のようにだしの味まで楽しむということから、薄味のだし汁になっているそうです。関東では、だし汁を飲んで楽しむよりうどん自体を食べることに力点があるからだといわれているそうです。

3. うどんのルーツは、奈良時代に中国から伝来した唐菓子(からくだもの)の一種の「こんとん」であるといわれています。小麦粉に加工して作られた団子で、これを日本で やがて温かい汁に入れて食べるようになったといわれています。もっとも、遣隋使、遣唐使が持ち帰ったとか、空海が持ち帰ったとかの説もあります。そして、室町時代に現代のうどんの形になったといわれています。そして、江戸時代に庶民の生活の中に入ってきたのです。

4. それぞれにご当地のそれぞれ特色のあるうどんがあるように、各地でのうどんの食文化がこれからも大切に継承されて、それぞれの地方の特色が守られてゆくことが大切だと改めて思っています。

東京だけが日本ではなく、それぞれの地方の活力があつてその集合体の全体が日本だといつも実感したいので、地方各地の独特の食文化を大切にしたいです。それは地方の文化を守ることになり、地方の活力を生み出す源にもなるからです。私たちはそれぞれのふるさとの食文化を守ってゆきたのだと思います。

《委員会報告》

職業奉仕グループ 富井一矢 君

職場見学会のご案内

「フジテレビ及びフジエクスプローザイア」見学を「船の科学館」南極観測船の見学コースに変更となります。

米山奨学生関係 古橋剛俊 君

以前、静岡東クラブが米山奨学生としてウランチンさんを受け入れました。静岡大学大学院を卒業して、石川県能美市の大学院大学に行っていましたが、国に帰るとうことで手紙をいただきました。「お陰様で卒業することができました9月25日に帰国することになりました。帰ってからは就職活動と婚活を行います。日本には10年間いました。大変長い間ありがとうございました。」以上、元奨学生からの手紙をご紹介します。

《会員卓話》



創立記念講演 宮川 潤 君
『御嶽山の噴火について』

ロータリーに入り20年になりますが20年前と現在の違いを話したいと思っていましたが、偶々先月の27日に御嶽山の噴火がござ

いましたので急遽内容を変更することにいたしました。私はここ20年間位自然災害というものを仕事としてやっておりました。そういうことで御嶽山の話させていただきます。

1. 今回の御嶽山噴火について(2014年9月27日)
発災。秋野観光シーズン、12時、快晴。発災状況としては最悪。死者50人超(戦後最悪)
2. 私は県庁に30年ほど居たのですが、山本慶三郎さんという知事が49年に当選しました。49年は静岡の七夕豪雨その日に選挙がおこなわれました。私に与えられたテーマは3つ程ありまして一つは「鉄道」でございます。JR(当時は国鉄)とは非常に私は濃密に関わって参りました。ひかり号の停止を1日に1本から1時間に1本に変更することに成功いたしました。二つ目は「電波」SBS静岡放送とテレビ静岡の2局で独占していましたが、後に読売と朝日が相乗りで静岡県民放送株を創り3局になり、最終的には4局体制になった訳です。3つ目は山本知事が政政治生命を掛けて自然災害に取り組むと言ひ、私にやれと言ってきた訳です。地震対策課長になり世界で地震や噴火が起こるたびに出かけて行きました。カリフォルニア大学、コロンビア大学、ハーバード大学などいろいろな所に行かせていただき、勉強させていただきました。防災 世界各地メディア 日本の災害地の調査研究(ワシントンポストの紙面・ラジオジャパン放送)前回昭和54年(1979年)の御嶽山の噴火(前回)が起こり、現地調査に行きました。今考えると非常に厳しい調査だったと思います。
3. 日本列島の火山。全国で110所の火山があります。一番高い山が富士山、次に御嶽山となります。重点監査・観測地域が47か所あり、富士山も勿論含

まれています。

4. 噴火予知レベル・・・現状では不可能(地震も)資料の表を見てください。特別警報、警報、予報の順になっております。御嶽山は予報の中の1平常レベル、火山活動静穏 特に問題なしとなっていた訳ですが、学会の中では警報2周辺規制レベル、3入山規制レベルに値するのではないかと議論があります。地震・火山の予知は非常に難しいという結果になります。
5. 今回の救助活動。今回の救助活動では消防、警察、自衛隊(プロ)が500~1050人で毎日入り込んでそう救助を行っている。これらはアマチュアとかボランティアが活躍出来るものでは到底ない、プロでなければ不可能!
6. 今後の防災体制。1つは観測体制の強化。名古屋大学の山岡教授は長い間御嶽山の監視を続けている方です。今後は監視体制をもっと強化するべきであると言っております。2つ目は情報のあり方の再検討、工夫。東京大学の藤井名誉教授。情報をもう少し上手に処理できれば、今回のような被害はなかったのではないかと。しかし20年間年に200億を火山、地震の予知研究に4000億円を投じてきたがこの程度にしかならない。監視体制の強化と監視した結果の情報をどうやって処理するかが課題となる。
7. 私見。予知と情報揭示の困難さ。30~50年間は予知は無理ではないか?日本と世界の地震と噴火の状況。神戸 三陸(3.11)伊豆南部、中国唐山 アメリカ他と各地で地震が起きていますが、予知は非常に難しい。不可能に近いのでは?
8. 富士山を含めて日本には活火山、旧火山、死火山とありますが、富士山は死火山ではありません。金華山、むしろ活火山に近い。富士山が世界文化遺産とり有頂天に喜んでる場合ではない。おそらく10年、20年後に私は富士山が噴火するのではないと思う。富士山が噴火した場合の被害が及ぶ範囲は、神奈川・東京・埼玉の関東地方です。偏西風の影響で静岡・愛知には差ほど影響が及ばないと思います。
9. 日本列島の面積は世界の陸地の0.03%です。10%の地震プレートがある、世界一厄介な日本列島。そういう所に我々は住んでいるということを意識する必要があります。噴火地震、集中豪雨と地球は生きている。噴火が起こって10年20年後に地震が起こるのはノーマルパターンでありまして、今回の噴火は極めて危険な状況を示していると考えられます。何れにしろ、私は山本知事に使えた12年間、サラリーマンとしてはいろいろな経験をさせていただきました。これで良かったのではないかと考えています。人間には自分の師、先生、心から尊敬するような人が必要だったと思いました。どうもありがとうございました。

《スマイル報告》

なし

《出席報告》

なし